

(G2 G3)
H4

—30—

基礎能力

試験問題

注意事項

1. 問題は **40 題(28 ページ)**で、解答時間は **1 時間 30 分**です。
2. この問題集は、本試験種目終了後に持ち帰りができます。
3. 本試験種目の途中で退室はできません。なお、試験時間中に、この問題集を切り取ったり、転記したりしないでください。
4. 下欄に受験番号等を記入してください。

第1次試験地	試験の区分	受験番号	氏名
--------	-------	------	----

指示があるまで中を開いてはいけません。

【No. 1】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

癒^いしという言葉が、最近よく聞かれるようになった。それは近代医学が急激に進歩して、これまでは不治と思われていた病気を治したり、予防することが可能になってきた反面、近代医学によってはいかんともし難い、病気や傷のあることが、はっきりと意識されてくるようになったためと思われる。

心の病や傷は、多くの場合、薬や手術によって治すことができない。そんなときに音楽が役立つことがある。音楽が心を癒してくれるのだ。

人間は「眼の動物」と言われたりするほど、生活を視覚に頼っている。初対面の人に会ったとき、その人の姿、顔、衣服などを見て、その視覚像によって相当に判断を下している。どこかの場所にしても、視覚に頼って記憶している。それに言語にしても、書かれた文字によるものを読むことが多い。この傾向があまりにも強くなると、目に見えないものは実在しないと考えたり、信頼しないということになったりする。現代人はこの傾向が強く、言うなれば、人間全存在としての体験を視覚による体験によって限定してしまっていることが多い。心が知らぬ間に、堅く、狭くなっている。そして、堅く、狭い心ほど傷つきやすいのだ。

音楽というものは、雑音と異なって、何らかの「構造」をもっている。言うならば相当な形をもっているのだが、目に見えない形である。その目に見えない形が、目に見えるものによって形づくられている構造に対して作用を及ぼしてくる、というのが音楽を聴くということではないだろうか。目に見えない形が、堅く狭い構造をときほぐしてくれる。そんなときに、人は癒しを体験する。

形の変容とともに、それに閉じこめられていた感情を体験することも多い。音楽を聴くときに、われわれの感情が動く。感情体験という場合に、そこに強さと深さという異なるスケールのあることも忘れてはならない。強くて浅いものもある。弱い深いもの、強くて深いもの。そして、癒しがかかわるのは深さのほうであろう。人間の心の全体がどれほどかかわるかによって深さの程度が異なる。激しく強いが、癒しにかかわらぬ音楽もある。

音楽の構造、その演奏の方法、聴く側の心の在り方、これはまったく千差万別である。したがって、ある音楽がある人のあるときに深い癒しの効果をもつことはあっても、それは常に誰にでも有効とはかぎらない。これらの組み合わせによって効果が異なるところに面白さがある。

1. 心の病や傷は薬や手術で治すことができないが、近代医学の進歩で予防ができるようになった。
2. 現代人は生活を視覚に頼る傾向が強く、書かれた文字情報以外は信頼できなくなっている。
3. 目に見えない形が、視覚によりつくられる構造に作用することで、癒しを体験することもある。
4. 音楽は、目に見えないが相当な形を持っているため、視覚に頼る現代人からも信頼されている。
5. 音楽は、演奏の方法など千差万別であるが、人の心に対しての癒しの効果に違いは見られない。

【No. 2】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

木々は、毎年山のような花をつけ、山のような実を落とす。なぜなのだろうか。もしもそれが他者を呼び寄せるためのものだとすれば、私も何となく納得ができるのである。

そして、もしそうであるとするなら、木が自由に生きるためには、他の自然の生き物たちも自由に生きていられる環境が必要である、ということになるだろう。木は自分の自由のために、他者の自由を必要とするのである。

それは素晴らしいことである。人間はときに自己の自由を手にするために、他者の自由を犠牲にさえするのに、木は他者の自由があってこそ自分自身も自由でいられるのである。

自由を、日本の昔からの言葉のつかい方に従って、自在であることと言い直せば、木が自在な一生を生きるためには、自在に他者を呼び寄せ、自在に他者とともに生きていく世界が必要なはずである。

こんなふうに考えていくと、自由はさまざまである。移動できないものの自由も、ここにはある。

かつての日本語では、自由は、勝手気まま、自在であることという意味で用いられていた。それが外来語の自由が入ってきてからは、責任のある行動をしようとするときの障害を除去すること、という意味に変わった。こうして人間社会の制度的束縛を取り払うことが、自由の中心的課題になった。

ところが自由には、次のような自己矛盾が生じている。それは、何が自由で、何が不自由なのかを見定めるためには、それをつかみとるための自由な精神がなければならず、その自由な精神をもつためには、自由な社会がなければならないということである。つまり自由な精神がなければ自由は確立できず、自由が確立されていなければ自由な精神は得られない。

これではAのためにはBが必要であり、BのためにはAが必要であるという、完全な循環論法になってしまう。同じところをグルグル回ってしまうのである。

この自己矛盾から抜け出すためには、私には他者の自由、これまで気づかなかった自由に接する必要性があるような気がする。

1. 木は移動できないため、他の自然の生き物たちが自由に生きていられる環境においても、自由ではいられない。
2. 人間が自在な一生を送るためには、自在に他者を呼び寄せる必要があり、それには他者の自由を犠牲にする必要がある。
3. 現代では、自由という言葉は、勝手気ままな行動をしようとするときの障害を除去することという意味に変わっている。
4. 自由な精神を得るためには、自由が確立されている必要があり、また、自由が確立されているためには、自由な精神が必要である。
5. 他者の自由に接することで、人間社会の制度的束縛を取り払うことができ、責任のある行動をすることができるようになる。

【No. 3】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

封建時代の末期から、農業生産力の増大、交換形態の発達、交通の拡大が始まりますが、これによって小さな封建的地域社会が瓦解^{がかい}し、商業ブルジョアジーが勃興し、村落共同体レベルから現在の国民国家レベルでの市場が成立していきます。市場における個人の自由な活動によって「良き社会」が実現できると考えられていました。そこで、私人間の取引(売買、賃貸借、消費貸借などの契約)につき、当事者の自由な意思の合致でおこなわれる限り、それに法的効果を認める制度が確立されたのです(契約自由の原則)。

他方、市場にも限界があります。私人間の自由な取引だけでは、どうしても解決することのできない公共的問題が社会には存在するからです。共通の通貨があって初めて自由な取引が可能になります。また道路、河川、港湾、公園、公共の広場などのインフラの整備や管理は本来、個人間の契約に委ねて済ますわけにはいきません。つまり、社会におけるインフラの整備などの公共的な問題を処理し、「良き社会」を作るためには、どうしても「国家」が必要です。

確かに初期資本主義の時代には、アダム・スミスが考えたように市場(社会)は「神の見えざる手」(自由な競争)に委ねておけばよく、国家の役割はせいぜい社会内の秩序を維持し外敵から社会を防衛するだけで事足りました。

しかし、資本主義の発達とともに、自由競争に委ねるだけでは市場はうまく機能せず(市場の失敗)、ときに暴走しかねないことが明らかになってきました。国家は市場(社会)に積極的に介入して自由競争を確保したり、自由競争に敗れた敗者に救済の手を差し伸べたりする必要がでてきました。これを国家(行政)介入といいます。その手段として登場したのが行政法であり、資本主義の発達とともにその役割が重要性を増してきました。資本主義の発達は国により時代により違いがありますから、その介入の態様や手法に相違があるのはもちろんです。

「法の支配」の原理の下では、国家と社会におけるそれぞれの法律関係は、「意思自治原則」の下に整理することができます。

すなわち、意思自治原則の社会(あるいは私法)における発現形態が「私的自治＝契約自由の原則」であり、国家(あるいは行政法)における発現形態が「法律に基づく行政の原理」です。

1. 国民国家レベルでの市場が形成されたことにより、交換形態が発達し、交通が拡大された。
2. 国家があることで、市場の限界とされる公共的な問題が処理され、良き社会が作られる。
3. アダム・スミスは、社会を神に委ね、公共的な問題も私人間の取引で済ますことを説いた。
4. 行政法の役割が重要性を増してきた背景には、市場の失敗が明らかになってきたことがある。
5. 資本主義は、意思自治原則の社会では初期状態のままであり、行政があって初めて発達する。

【No. 4】 次の文の に当てはまるものとして最も妥当なのはどれか。

街中を歩いているとき、家の塀、電柱、庭木、郵便箱、といった様々の事物が見えている。そのような様々な事物はそれぞれの輪郭でその周囲から区切られて見えている。だがどうしてそのような区切りで区画されて見えるのだろうか。別な区切り、例えば電柱の中程の水平の区切り、あるいは郵便箱をその背景である黒塗りの塀の一部と一緒にまとめた区画だって可能であろう。その他無数の区切り方でその街頭風景が見えてもいいはずである。それなのにその風景は見慣れた事物に分節して見えるのはどうしてだろうか。それは習慣のためだ、と答えられるかもしれない。しかし、ではそれならその習慣がどうしてできたのだろうか。 も可能だったのではなからうか。ここで、それは言語に起因する、というより他はないように私には思える。

一つの家を「家」と呼ぶことは何はともあれそれを一つの家としてまとめた事物として見ることだろう。つまり、或るまとまった輪郭線で周囲の背景から区切られた一つの事物として見ることである。その輪郭は絶対に変更不可能というわけではないが、かなり強固に固定されていてた易く変更されない。特にそれを縦や横に二つに割るような大巾な変更は不可能だおおはばとあって差支えないだろう。

1. 事物を正しく見分ける習慣を身に付けること
2. 他の可能な区切りで見える習慣が生じること
3. 街中の様々な事物を他の呼び方で呼ぶこと
4. 言語と切り離して事物の本来の形を見ること
5. 見慣れた事物を見慣れぬものだと考えること

【No. 5】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

去年の秋、かりそめに面をあはせ、ことし五月の初、深切に別をおしむ。其わかれにのぞみて、ひとひ草扉をたゝいて、終日閑談をなす。其器^{うつはもの}、画を好ム。風雅^{その}*1を愛す。予^{あいつ}*2こゝろみにとふ事あり。「画は何の^{ためにこのむ}為好や」、^{なんの}「風雅は何為愛すや」、^{あいつ}「画の^{いへ}為愛」といへり。其まなぶ事二にして、用をなす事一なり。まことや、「君子は多能を恥」と云れば、品ふたつにして用一なる事、感ずべきにや。画はとつて予が師とし、風雅はをしへて予が弟子となす。されども、師が画は精神徹^{いり}に入、筆端妙^{ひつたんめう}をふるふ。其幽遠なる所、予が見る所にあらず。予が風雅は夏炉冬扇のごとし。衆にさかひて用^{もちふ}る所なし。たゞ釈阿・西行のことばのみ、かりそめに云ちらされしあだなるたはぶれごとも、あはれなる所多し。後鳥羽上皇のかゝせ玉ひしものにも、「これらは歌に^{まこと}実ありて、しかも悲しびをそふる」とのたまひ侍^{はべり}しとかや。されば、このみことばを力として、其細き一筋をたどりうしなふる事なけれ。猶^{なほ}「古人の跡をもとめず、古人の求^{もとめ}たる所をもとめよ」と、南山大師の筆の道にも見えたり。風雅も又これに同じと云て、^{ともしび}燈をかゝげて、柴門の外に送りてわかるゝのみ。

(注) *1 風雅：俳諧 *2 予：わたくし(ここでは松尾芭蕉のこと)

1. 芭蕉は、弟子に絵心があるか気になり、好きな絵は何かを試しに聞いてみた。
2. 芭蕉の弟子は、俳句を詠むことと絵を描くことを同時に行うことができる器用な人であった。
3. 芭蕉は、師の絵の幽遠さについて、自分では見抜くことができなと感じていた。
4. 芭蕉の言葉は、たとえどんなにふざけた言葉でも、趣があると評価されていた。
5. 南山大師の教えについて語っていたら遅くなったので、弟子は芭蕉を柴門の外まで送った。

【No. 6】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

With any luck, the future will bring more self-driving cars and flying drones to deliver pizza and other goodies. For those robots to get around safely, though, they need to both see their surroundings and understand what they're seeing. A new kind of camera developed by engineers in California may help them do just that. It sees more than what meets our eyes.

The new camera combines two powerful traits. First, it takes exceptionally wide images. Second, it collects data about all the light bouncing around the scene. Then, an onboard computer uses those data to quickly analyze what the camera sees. It can calculate the distance to something in the picture, for example. Or it can refocus a specific spot within the image.

Such calculations would help self-driving cars or drones better recognize what's around them. What kinds of things? These might include other vehicles, obstacles, intersections and pedestrians. The technology could be used to build cameras that help their host vehicle make faster decisions — and use less power — than do the cameras on drones and vehicles now. A car might then use those data to navigate more safely.

1. カリフォルニアでは、運がよければ、自動走行車やドローンがピザなどを運ぶ実験が行われる様子を見ることができるとある。
2. 技術者たちによって新しい種類のカメラが開発され、このカメラは、自動走行車やドローンが周囲の状況を理解するために役立つ可能性がある。
3. 新しい種類のカメラが付いている自動走行車やドローンには、高度な計算を行う二つの強力なコンピュータが搭載されている。
4. カメラから出た光が物に反射し、その光をとらえたコンピュータが、障害物や交差点までの距離を算出する。
5. 既存の自動走行車やドローンに新しい種類のカメラを搭載すると、より速い移動、より安全な操縦を行うことができる。

【No. 7】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

The British set up many of their salt-making sites on the coast and at inland brine springs^{*1} at Cheshire and Worcestershire at the time of the Roman Conquest. Salt was a vital commodity^{*2} to the Roman army, so the demand was met by setting up military salt works. Roman soldiers were partially paid in salt. In fact, the word soldier derives from “*sal dare*,” which means to give salt. It’s from the same Latin source as the word salary: “*salarium*.”

Ancient man got his salt from eating animal meat. As he turned to agriculture and his diet changed, he found that salt — probably in the form of sea water — gave his vegetables a nice salty flavor as well.

Scores of small salt-producing companies were operating around Middlewich and North Cheshire in England by the 18th and 19th centuries. Before today’s more sophisticated^{*3} salt production methods, Cheshire salt works produced two grades of salt: fine and common.

Then, by the 19th century, chemists discovered ways of using salt to make a whole range of new chemicals. Today, manufacturers claim there are more than 14,000 uses for salt. Most people probably think of it as simply a white granular seasoning found in a salt shaker on many dining tables. Salt is that, but it’s also far more. It’s an essential element in the diet of humans, animals and even many plants.

(注) ^{*1} brine springs : 塩水泉 ^{*2} vital commodity : 生活必需品

^{*3} sophisticated : 高度な

1. ローマ時代、ローマ軍は、生活必需品である塩をローマから英国まで運ばせた。
2. 英国では、18世紀から19世紀にかけて、工場労働者の給料の一部は塩で支払われていた。
3. 古代人は、獣の肉から塩分を摂取していたが、農耕で食生活が変わると塩分不足に陥った。
4. 製塩方法が高度になると、Cheshireの工場は、貴族向けと庶民向けの塩の製造を始めた。
5. 塩は、単なる調味料と思われているが、そのほかにも多くの用途がある。

【No. 8】 ある会社の社員について、次のことが分かっているとき、論理的に確実にいえるのはどれか。

- 市外から通勤している社員は、自動車通勤していない。
- 自動車通勤している社員は、早出勤務をしていない。
- 早出勤務をしている社員は、市外から通勤していない。
- 通勤時間が1時間以上の社員は、自動車通勤しているか、又は、市外から通勤している。

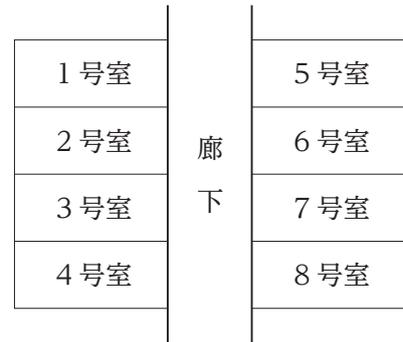
1. 市外から通勤している社員は、早出勤務をしている。
2. 市外から通勤していない社員は、通勤時間が1時間未満である。
3. 自動車通勤している社員は、市外から通勤している。
4. 自動車通勤していない社員は、早出勤務をしている。
5. 早出勤務をしている社員は、通勤時間が1時間未満である。

【No. 9】 A～Fの6人がバーベキューを行った。6人は、肉2種類(牛肉, 豚肉)のうち1種類と、野菜4種類(ピーマン, 玉ねぎ, にんじん, なす)のうち2種類の合計3種類を組み合わせ、それぞれ1本の串に刺した。次のことが分かっているとき、確実にいえるのはどれか。

- 6人の串をみると、牛肉がある串は4本、豚肉がある串は2本、ピーマンがある串は3本、玉ねぎがある串は4本、にんじんがある串は2本、なすがある串は3本であった。
- 6人の串は、肉と野菜の3種類の組合せが互いに異なっていた。
- Aの串には、ピーマンと玉ねぎがあった。
- Bの串には、豚肉があった。また、BとEの串の野菜は2種類とも同じであった。
- CとDの串は、ピーマンのみが同じであった。
- Fの串は牛肉, 玉ねぎ, にんじんの組合せであった。また、牛肉とにんじんの両方がある串はFの串以外にはなかった。

1. Aの串には、豚肉があった。
2. Bの串には、にんじんがあった。
3. Cの串には、牛肉があった。
4. Dの串には、玉ねぎがあった。
5. Eの串には、なすがあった。

【No. 10】 図のような八つの部屋があるホテルに、A～Fの6人が一つの部屋につき1人ずつ宿泊しており、二つの部屋は空室である。次のことが分かっているとき、確実にいえるのはどれか。



- Aの部屋の隣には、空室が少なくとも一つある。また、Bの部屋の隣にも、空室が少なくとも一つある。
- Aの部屋と廊下を挟んで真向かいにある部屋の隣は、Dの部屋である。
- Bの部屋と廊下を挟んで真向かいにある部屋は、Eの部屋である。
- Dの部屋と廊下を挟んで真向かいにある部屋は、空室である。
- Cの部屋とEの部屋は、それぞれ5号室と7号室又は7号室と5号室である。

1. 1号室はBの部屋である。
2. 2号室は空室である。
3. 3号室はAの部屋である。
4. 6号室はDの部屋である。
5. 8号室は空室である。

【No. 11】 いずれも異なった年齢であるA～Fの6人について次のことが分かっているとき、確実にいえるのはどれか。

- 6人が年齢順に並んだとき、隣り合う者との年齢差はそれぞれ異なり、その値は2, 3, 4, 5, 6のいずれかであった。
- Aは最も年長で40歳であり、Cは最も年少で20歳であった。
- AとAの次に年齢の高い者との年齢差は6歳であった。
- AとFの年齢差とCとDの年齢差は同じであり、DとFの年齢差は4歳であった。
- BとEの年齢差の値はBとCの年齢差の値の2倍未満であった。
- EはDとFより年上であった。

1. BとCの年齢差は5歳であった。
2. DとEの年齢差は6歳であった。
3. EとFの年齢差は2歳であった。
4. 2番目に年齢が高いのはBであった。
5. 3番目に年齢が高いのはFであった。

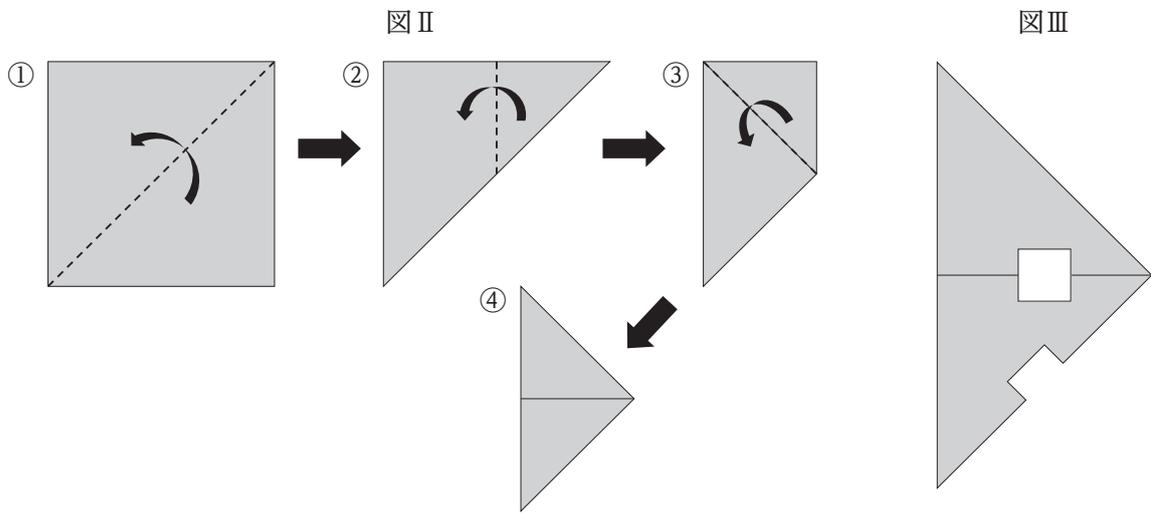
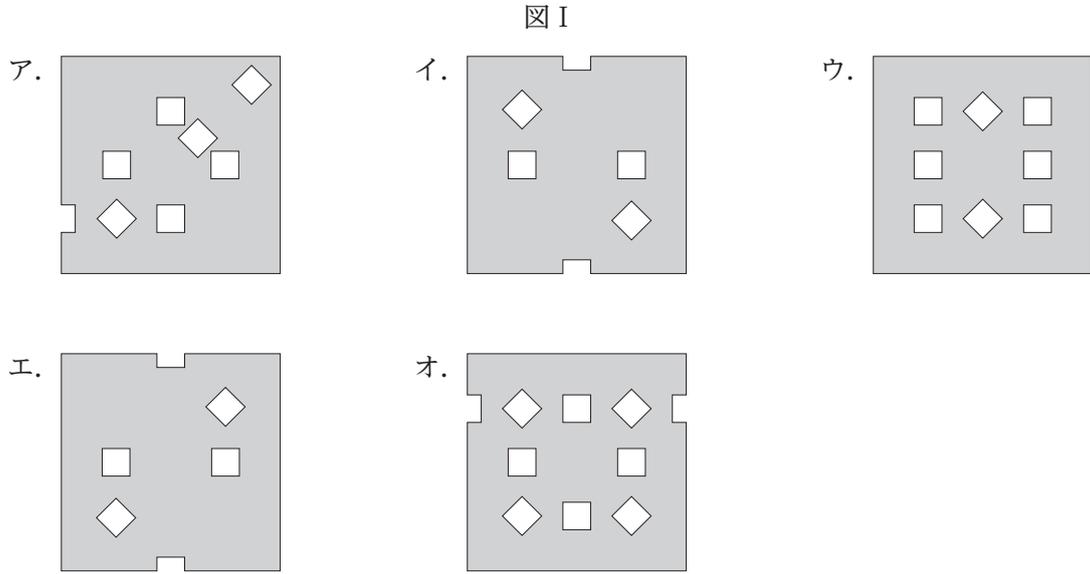
【No. 12】 ある高校では、生徒が第二外国語の履修科目としてフランス語又はドイツ語のいずれかを選択している。この高校の1年生と2年生について次のことが分かっているとき、確実にいえるのはどれか。

- この高校の1年生と2年生は、合わせて400人である。
- 1年生の男子は、100人である。
- 2年生の男子は、90人である。
- ドイツ語を選択している男子と女子は、同数である。
- フランス語を選択している男子は、2年生の女子と同数である。
- フランス語を選択している女子は、90人である。

1. 1年生の女子は、90人である。
2. 2年生の女子は、80人である。
3. フランス語を選択している男子は、70人である。
4. ドイツ語を選択している男子は、100人である。
5. ドイツ語を選択している女子は、110人である。

【No. 13】 図 I のような、両面が共に灰色で、一部が切り取られた正方形の紙ア～オがある。これらのうちの 1 枚を選び、図 II のように、破線部分で 3 回谷折りしたところ、図 III のようになった。このとき、選んだ紙はどれか。

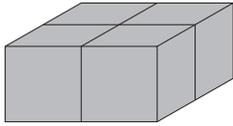
ただし、紙は回転させたり、裏返したりしてよいものとする。



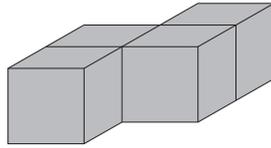
1. ア
2. イ
3. ウ
4. エ
5. オ

【No. 14】 一辺の長さが1の立方体を4個組み合わせて作った図I, II, IIIのような立体がある。
 いま, 図I, II, IIIの立体をそれぞれ一つずつ用いて作ることができる立体として最も妥当なのは,
 次のうちではどれか。

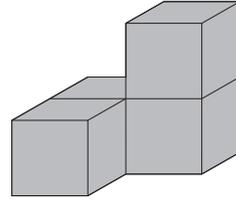
図I



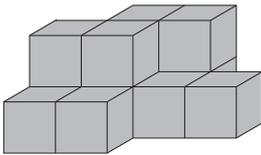
図II



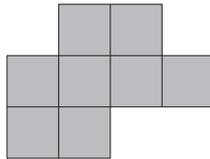
図III



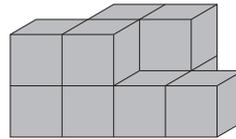
1.



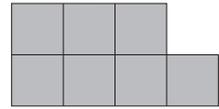
真上から見た図



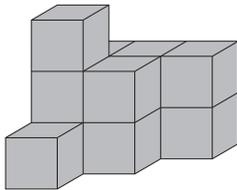
2.



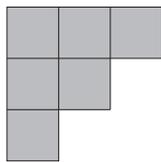
真上から見た図



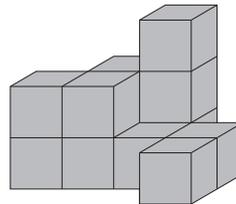
3.



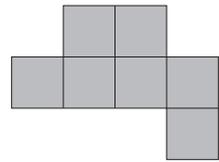
真上から見た図



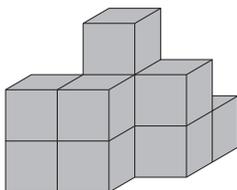
4.



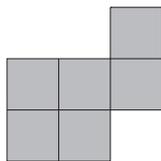
真上から見た図



5.



真上から見た図



【No. 15】 箱の中に赤玉が3個，白玉が5個，青玉が2個の合計10個の玉が入っている。この箱から同時に3個の玉を取り出したとき，それら3個の玉が全て同一の色にならない確率はいくらか。

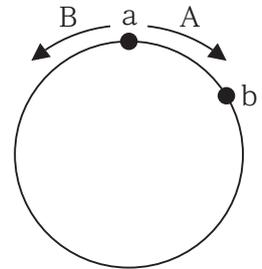
1. $\frac{31}{40}$
2. $\frac{97}{120}$
3. $\frac{101}{120}$
4. $\frac{7}{8}$
5. $\frac{109}{120}$

【No. 16】 ある企業はAとBの2部門から構成されており，企業全体の売上げは，2部門の売上げの合計である。A部門の商品aは，企業全体の売上げの40%を占め，A部門の売上げの60%を占めている。また，B部門の商品bは，企業全体の売上げの20%を占めている。このとき，商品bはB部門の売上げの何%を占めているか。

1. 30%
2. 40%
3. 50%
4. 60%
5. 70%

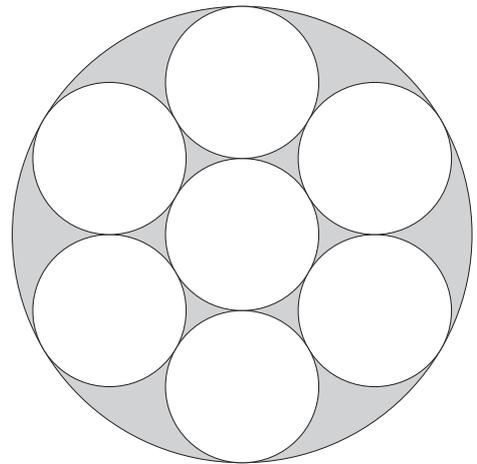
【No. 17】 図のような円形のコースがあり，Aはa地点から時計回りに，Bはa地点から反時計回りに，それぞれ一定の速さで歩くこととした。まずBが先に出発し，その2分後にAが出発したところ，Aが出発して1分後にb地点で，2人は初めてすれ違った。Aは30 m/分の速さで歩いており，b地点ですれ違った時点で，AはBが歩いた距離の0.2倍の距離を歩いたことが分かっているとき，次に2人がすれ違うのはb地点ですれ違ってから何分何秒後か。

1. 2分10秒後
2. 2分15秒後
3. 2分20秒後
4. 2分25秒後
5. 2分30秒後

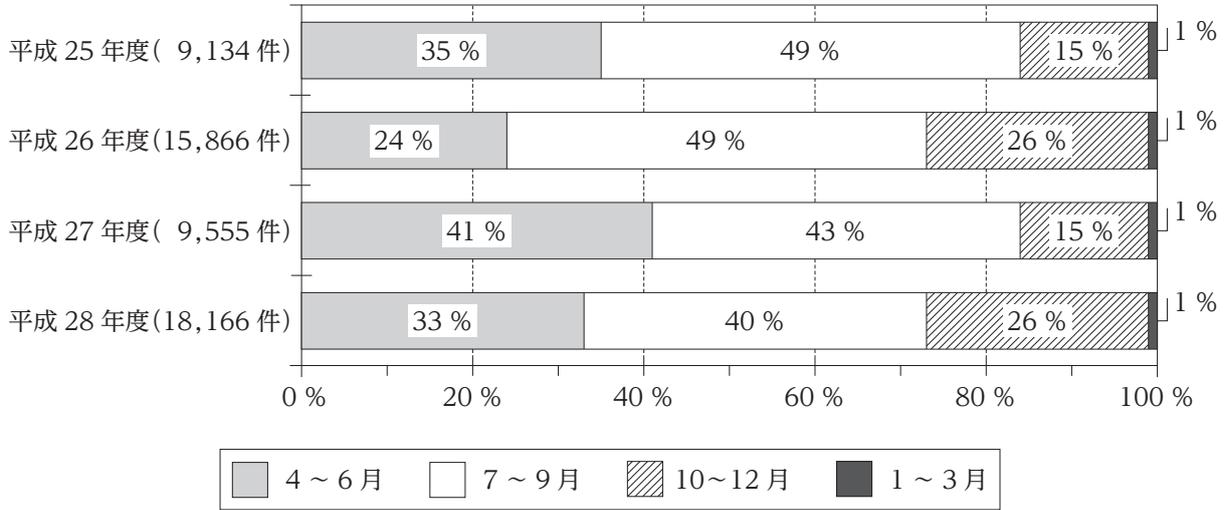


【No. 18】 図のように，一つの小さな円の周りに，同じ大きさの円が六つ重ならないように接しており，さらに，その六つの円が一つの大きな円に接している。網掛けの部分の面積が 2 m^2 であることが分かっているとき，大きな円の面積はいくらか。

1. 6 m^2
2. 7 m^2
3. 8 m^2
4. 9 m^2
5. 10 m^2



【No. 19】 図は、我が国における平成 25～28 年度のクマ類の出没情報の件数及び四半期ごとの割合について示したものである。これから確実にいえるのはどれか。



1. 平成 25 年度 7～9 月の件数は、平成 26 年度 10～12 月の件数を下回っている。
2. 平成 27 年度 4～9 月の件数は、平成 26 年度 4～9 月の件数を上回っている。
3. 平成 28 年度 10～12 月の件数は、平成 27 年度 10～12 月の件数の 3 倍を上回っている。
4. 平成 28 年度の件数が前年度の件数を上回っているのは、平年より気温が高い日が前年度より多かったためである。
5. 4～6 月の件数についてみると、平成 26～28 年度のうち対前年度増加率が最も小さいのは、平成 26 年度である。

【No. 20】 表は、A～Jの10都道府県について、平成27年の農業産出額、産出額が上位3位までの品目及びその品目の各都道府県の農業産出額における構成比を示したものである。これから確実にいえるのはどれか。

都道府県	農業産出額 (億円)	1位品目		2位品目		3位品目	
		品目	構成比 (%)	品目	構成比 (%)	品目	構成比 (%)
A	11,852	生乳	29.9	米	9.7	肉用牛	8.2
B	1,237	みかん	16.4	米	10.9	豚	10.4
C	1,011	みかん	27.4	うめ	10.2	かき	8.5
D	2,191	米	16.9	いちご	9.5	鶏卵	6.5
E	2,723	米	19.2	生乳	12.7	いちご	10.0
F	2,204	みかん	11.5	茶(生葉)	8.9	米	8.3
G	935	肉用牛	20.0	さとうきび	17.3	豚	12.8
H	2,420	米	17.4	レタス	12.4	りんご	11.5
I	3,348	トマト	13.9	肉用牛	11.2	米	10.8
J	3,068	りんご	26.8	米	13.8	豚	8.4

1. AとEの米の産出額は、いずれも500億円を超えている。
2. 肉用牛の産出額についてみると、AはIの3倍を超えている。
3. A～Jのうち、みかんの産出額が最も大きいのは、Bである。
4. Gのさとうきびの産出額は、Dのいちごの産出額を超えている。
5. りんごの産出額についてみると、JはHの4倍を超えている。

【No. 21】 2次関数 $y = x^2 - x + 2$ のグラフを x 軸方向に -2 、 y 軸方向に -2 だけ平行移動して得られる放物線が、直線 $y = x + a$ と接するとき、 a の値はいくらか。

1. -1
2. 1
3. 3
4. 5
5. 7

【No. 22】 電気や磁気に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 種類の違う物質どうしをこすり合わせると、摩擦によって、一方の物質の電子と他方の物質の陽子が交換され、二つの物質は静電気力により互いに反発する。
2. 電磁波は、電気と磁気の振動の波であり、電磁波が真空中を伝わる速さは周波数に比例するため、電波より周波数の高い γ 線などは、光より速く真空中を伝わる。
3. 真っすぐな導線に電流を流すと電流と平行な向きの磁場が生じる。このため、コイルに電流を流すと、コイルの周囲では磁場が互いに打ち消し合い、磁場の強さが 0 になる。
4. モーターは、電気エネルギーを力学的エネルギーに変換する装置であるが、直流電源に接続しても回転させ続けることができないため、交流電源に接続する必要がある。
5. 絶縁体と導体の中間の抵抗率を持つ物質は半導体と呼ばれ、シリコンやゲルマニウムなどがある。半導体は、ダイオードやトランジスタなどの電子部品の材料に用いられている。

【No. 23】 共有結合でできた物質に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 塩化水素は、黄緑色で無臭の有毒な気体で、空気よりも軽く、水に非常によく溶ける。2個の原子が直線状に結合しており、極性を互いに打ち消し合っている。
2. ベンゼンは、無色で特有のにおいを持つ液体であり、水に溶けにくい。6個の炭素原子が環状となった正六角形の構造をしており、化学工業製品の原料として利用される。
3. ヨウ素は、無色の液体で、水に溶けやすく、温めると昇華する。ヨウ素の分子は、分子間力が他の共有結合より強いいため、固体になると体積が増える。
4. 黒鉛は、炭素原子の4個の価電子が他の炭素原子と共有結合して正四面体形の立体的な構造を作っており、硬くてもろい。価電子が自由に動くため電気を導く。
5. ポリエチレンは、分子中に二重結合を持つ高分子化合物であり、炭素、酸素、水素が共有結合している。フリース衣料やペットボトルなどに利用される。

【No. 24】 植生等に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 熱帯多雨林は、年降水量が多く、一年中気温が高い熱帯で発達する。多くの種類の植物が存在し、発達した階層構造を持つ。また、そこに生息する動物の種類も多様である。
2. 夏緑樹林は、温帯のうち比較的寒冷的な冷温帯で発達する。我が国にも夏緑樹林が分布し、主にエゾマツやカエデ類などの常緑広葉樹が優占種である。
3. ステップは、地中海沿岸など夏に雨が冬に雨が少ない地域で発達する。ステップでは、オリーブなどの落葉広葉樹が生育している。
4. 針葉樹林は、年平均気温が -5°C 以下となる寒帯で発達し、ミズナラなどの落葉針葉樹が優占種である。針葉樹林に生息する動物の代表例として、トナカイが挙げられる。
5. ツンドラは、年平均降水量が200 mm以下の乾燥地域で発達する。ツンドラでは、地衣類やコケ植物のほか、耐乾燥性を有するサボテン類が生育している。

【No. 25】 火山活動に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. マグマは、周囲の岩石より密度が小さいため、浮力により地下深部から上昇する。周囲の岩石と密度が同じになる深さに達すると上昇をやめ、マグマだまりを形成する。
2. 高温で二酸化ケイ素(SiO_2)の量が多い玄武岩質溶岩は粘性が大きく、流れにくい。また、揮発成分が抜けやすいので、穏やかな噴火となり、溶岩ドームが形成されやすい。
3. 高温の火山ガスと火山砕屑物^{せつ}がゆっくりと山を流れ下る火砕流は、粘性の小さいマグマで起こりやすい。また、火山ガスは主に二酸化硫黄から成るが、二酸化炭素を含むこともある。
4. 中央海嶺や弧状列島のようなプレートの境界部には、噴火する火山が広く分布しているが、これらはホットスポットと呼ばれる。ホットスポットは、プレートの動きに連動して移動する。
5. マグマが地下深くでゆっくり冷えて固まった岩石を火山岩といい、急速に冷えてできた岩石を火成岩という。急速に冷えると、大きく粗粒で粒径のそろった斑晶ができる。

【No. 26】 第二次世界大戦後のヨーロッパ諸国に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. フランスでは、ミッテラン大統領が第五共和制を発足させ、北大西洋条約機構(NATO)への加盟など、米国との連携を強める外交を行った。
2. 英国では、戦後間もなく保守党のサッチャー首相の下で、英国の植民地であったバングラデシュの独立が承認された。
3. ハンガリーでは、ワレサが率いる自主管理労働組合を中心として、「プラハの春」と呼ばれる民主化運動が起こった。
4. ドイツは、戦後間もなく、米・英・仏・ソの4か国に分割占領され、その後、西ドイツと東ドイツに分断された。
5. オランダ、ベルギーなど6か国は、1950年代にNATOを結成し、後にこれをヨーロッパ共同体(EC)へと発展させた。

【No. 27】 第二次世界大戦後の西アジア・南アジアに関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. インドでは、東西両陣営から自立する動きが現れた。その後、国民会議派のネルーと毛沢東中国国家主席による平和五原則が発表され、インドは英国から独立した。
2. トルコでは、スルタンの独裁に反対する青年将校たちの反乱により、オスマン帝国のスルタン制が廃止され、トルコ共和国が成立した。
3. パレスチナでは、パレスチナ難民が結成したパレスチナ解放機構(PLO)が中心となり、イスラエルを建国した。
4. アフガニスタンでは、社会主義勢力に対抗するため米軍が侵攻したが、ソ連がアフガニスタン政府を支援したため、米軍は間もなく撤退した。
5. イラクが石油資源の確保を狙ってクウェートを占領すると、湾岸戦争が起こり、米国を中心とする多国籍軍がイラク軍を撤退させた。

【No. 28】 明治時代以降の我が国の外交に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 北清事変を契機にロシアが満州を占領すると、警戒感を強めた我が国は、英国と日英同盟協約を締結した。
2. 日露戦争では、我が国は戦争の続行が困難となったため、米国のトルーマン大統領の仲介で、下関条約を調印した。
3. 第一次世界大戦後、国際連盟が発足したが、我が国は発足当初には加盟せず、米国、英国、フランス、ソ連が常任理事国となった。
4. 国際連盟が満州における中国の主権を認めると、我が国は、国際連盟から脱退し、その後、満州事変が起こった。
5. 第二次世界大戦後、サンフランシスコ講和会議が開かれ、佐藤栄作内閣は、米国やソ連などとの間で講和条約に調印した。

【No. 29】 世界の山脈に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. ピレネー山脈は、新期造山帯に属しており、なだらかな山々がヨーロッパ北部を東西に走っている。この山脈の南側には、ライン川などの国際河川が流れている。
2. ヒマラヤ山脈は、古期造山帯に属しており、アフガニスタン、インド、ミャンマー及び中国の国境地帯に位置している。最高峰はモンブランで、その標高は8,000 mを超えている。
3. アンデス山脈は、南アメリカ大陸東岸を南北に走っている。険しい山々が連なるが、中央アンデス周辺の低地では、リャマやアルパカが飼育されている。
4. アパラチア山脈は、古期造山帯に属しており、北アメリカ大陸南東部に位置している。鉱産資源が豊富で、周辺は炭田として開発されているところも多い。
5. グレートディヴァイディング山脈は、オーストラリア大陸中央部を南北に走っている。この山脈の中央部には、観光地としても知られているウルル(エアーズロック)がある。

【No. 30】 サハラ砂漠以南のアフリカに関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 焼畑の利用周期の短縮によって、中南アフリカの砂漠化が進んでいる。このため、広範囲にわたる食糧不足が生じており、人口が減少している。
2. 地域別にみると、熱帯雨林地域ではイモ類やバナナの栽培、サバナ地域では牛、ヤギなどの放牧、乾燥地域では長期保存が可能な米(陸稲)や豆類の栽培が主である。
3. ギニア湾沿岸地域では、金、銀などの採掘がかつて盛んであったが、近年、資源の枯渇に直面している。一方、東部アフリカでは、大規模な油田が開発されている。
4. 最も国内総生産(GDP)が大きいのは南アフリカ共和国であるが、鉱産資源への依存からの脱却が困難な状況にあり、第三次産業の割合は低いままである。
5. 東部アフリカの高原地帯ではコーヒー、茶など、ギニア湾沿岸地域ではカカオなどの作物が栽培され、輸出による外貨獲得の手段となっている。

【No. 31】 次のA～Eのうち、下線部のカタカナを()内の漢字に直したときに、その字の使い方が二つとも妥当なもののみを挙げているのはどれか。

- A : { 裏がア(明)ける。
 { ア(空)き缶を捨てる。
- B : { 余人をもってカ(換)え難い。
 { 説明の文を差しカ(変)える。
- C : { ランプのモト(下)で本を読む。
 { 酒がモト(基)でけんかをする。
- D : { 時間をサ(割)いて話をする。
 { 二人の仲を引きサ(裂)く。
- E : { 悪事をハカ(量)る。
 { 解決をハカ(図)る。

1. A, C
2. A, D
3. B, C
4. B, E
5. D, E

【No. 32】 次のことわざ又は慣用句とその意味の組合せのうち最も妥当なのはどれか。

1. 足が付く……………行動にしっかりした落ち着きがあること。
2. 情けは人のためならず……………人に情けをかけるとその人のためにならないこと。
3. 絵に描いたよう……………空想的なものは実際の役には立たないこと。
4. 虻蜂取らず……………危険にはなるべく近づかないほうがよいこと。
5. 流れに棹さす……………時流にうまく乗り、目的に向かって順調に進むこと。

【No. 33】 次の各組の英文と和文がほぼ同じ意味になるようにア、イ、ウに語句を当てはめたものの組合せとして最も妥当なのはどれか。

〔 I my best to meet my mother's expectations.
私は、母の期待に添えるよう精一杯頑張った。〕

〔 I can't up with her any more.
私は、もう彼女には我慢がならない。〕

〔 I up my mind to go to New York alone.
私は、一人でニューヨークに行くことを決心した。〕

- | | ア | イ | ウ |
|----|-----|------|--------|
| 1. | did | put | made |
| 2. | did | stay | caught |
| 3. | got | put | caught |
| 4. | got | stay | caught |
| 5. | got | stay | made |

【No. 34】 二つの英文がほぼ同じ意味となる組合せとして最も妥当なのはどれか。

- 〔 She can hardly speak Japanese.
She can speak Japanese very well. 〕
- 〔 They can no longer eat fried chicken.
They cannot eat much fried chicken. 〕
- 〔 The trunk was so heavy that she couldn't carry it.
The trunk was too heavy for her to carry. 〕
- 〔 He is not always free on Sundays.
He is never free on Sundays. 〕
- 〔 Not all the students in this school attended the event.
No students in this school attended the event. 〕

【No. 35】 国際連合(国連)や条約に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 国連児童基金(UNICEF)は、経済社会理事会の決議により設立された専門機関であり、難民の地位に関する条約に基づく難民の保護活動などを行っている。
2. 国連は、国際協力による人権の尊重を目的の一つとしており、達成すべき共通の基準として世界人権宣言を採択し、さらに、法的拘束力を持たせた国際人権規約を採択した。
3. 国連環境開発会議(地球サミット)では、「かけがえのない地球」を基本理念とした京都議定書が採択され、発展途上国も含む世界各国に温室効果ガスの排出削減義務が課せられた。
4. 核実験を全面的に禁止する包括的核実験禁止条約(CTBT)が安全保障理事会で採択され、1990年代に発効されたため、1960年代に調印された核拡散防止条約(NPT)は失効した。
5. 国際刑事裁判所(ICC)は、国家が犯した戦争犯罪や人道に対する犯罪を裁き、当事国が判決を履行しない場合、国際平和と安全の維持・回復のための強制措置を決定する。

【No. 36】 社会権に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 社会権は、ドイツのワイマール憲法において初めて規定され、日本国憲法では生存権、労働基本権、教育を受ける権利が保障されている。
2. 日本国憲法では、国民に勤労(労働)の権利を明示しているが、一方で一定の収入があり生活が安定している場合もあることから勤労の義務は明示していない。
3. 日本国憲法では、すべて国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有すると規定しているが、国民の社会福祉や社会保障の向上などに関する規定はない。
4. 日本国憲法では、勤労者の団結権・団体交渉権・団体行動権(争議権)を定めているが、公務員については、団体交渉権と団体行動権が一切認められていない。
5. 人間が人間らしく生きるには、一定の知識・教養等を身に付ける必要があり、日本国憲法ではすべての国民にその能力にかかわらず平等に高等教育までの教育を受ける権利を保障している。

【No. 37】 国民所得や経済成長に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 国内総生産(GDP)は、ストックの代表的な指標であり、これまでの経済活動によって蓄えられた有形資産から対外純資産を差し引いたものである。
2. 一定期間内に生み出される付加価値の合計は、三面等価の原則により国民所得(NI)に一致する。また、付加価値の合計は、中間生産物の金額が増えると高くなる。
3. 経済成長率は経済活動の実態を示す指標の一つであり、一般に、実質 GDP の変化率である実質経済成長率が用いられる。
4. 消費者物価指数とは、平均的なコンビニエンスストアでの商品の価格によって算出され、販売価格が希望小売価格を上回ると指数は上昇する。
5. 緩やかなデフレーションは、将来の景気回復を見越しての消費や投資を活性化させるが、これが続くと預貯金の価値が減少するデフレ・スパイラルを引き起こす。

【No. 38】 我が国の租税や財政に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 一般会計は、社会保障や公共事業などの幅広い目的で支出を行い、税を財源にしなければならない。また、特別会計は、第二の予算とも呼ばれ、公債を財源としなければならない。
2. 財政の資源配分の機能とは、累進的な税制や生活保護などの社会保障給付によって、高所得者から生活が困難な人々に所得を配分することで、所得の平等化を図ることである。
3. 財政の自動安定化装置とは、景気の動向に左右されにくく、安定した税収を得られる仕組みのことをいい、代表的なものとして固定資産税や相続税が挙げられる。
4. 裁量的財政政策を採ると、不況期には増税を行い、財政支出を増やすことで有効需要を拡大し、好況期には減税を行い、財政支出を減らすことで有効需要を抑制する。
5. 消費税は、所得にかかわらず消費額に一律の税率を適用するため、低所得者ほど所得に対する税負担の割合が高くなるという逆進性がある。

【No. 39】 科学技術や生命倫理に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 生命維持装置の出現によって、患者本人が意思を表明できなくとも、延命治療が行われるようになり、QOL(生命の質)は大幅に改善された。
2. 遺伝子組換え作物とは、遺伝子を操作して安全性を高めた作物であるが、生態系のバランスが崩れるおそれがあり、我が国では、販売が禁止されている。
3. インフォームド・コンセントとは、医師が患者に十分な説明を与えた上で、患者が治療の方針や方法について同意することをいう。
4. 我が国では、脳死とは、自発呼吸はあるが脳波が平坦であるなど、脳幹を除く脳の大半の機能が停止した状態とされ、脳死者から臓器の移植が行われている。
5. iPS細胞(人工多能性幹細胞)を用いた再生医療は、拒絶反応の問題があり、また、作製の際に受精卵を壊す必要があるため、ヒトへは適用されていない。

【No. 40】 江戸時代の国学や蘭学に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 本居宣長は、万葉集に表現された素朴で素直な心を「もののあはれ」と呼び、古代人に人間の理想を見だして古典文学の研究を進め、国学の祖と呼ばれた。
2. 平田篤胤は、荻生徂徠の提唱した古文辞学に基づく復古神道を唱えたが、幕末期には蘭学が流行していたため社会への影響力を持つことができなかった。
3. 第6代将軍徳川家宣の時代に、長崎における漢訳洋書の輸入制限が緩和されると、新井白石、青木昆陽らはオランダ語を学び、蘭学の先駆者となった。
4. 前野良沢や杉田玄白らは、オランダ語の解剖学書を『解体新書』として訳述した。また、杉田玄白は、その経緯を『蘭学事始』という書物に書き残した。
5. 渡辺崋山や高野長英は、蘭学の合理的な批判精神を学ぶ中で、庶民の困窮に対して無策の幕府の支配体制を批判したため、安政の大獄で処罰された。

平成30年度 一般職高卒者試験
基礎能力試験 正答番号表

問題	正答	問題	正答
1	3	21	2
2	4	22	5
3	4	23	2
4	2	24	1
5	3	25	1
6	2	26	4
7	5	27	5
8	5	28	1
9	5	29	4
10	2	30	5
11	1	31	2
12	3	32	5
13	1	33	1
14	3	34	3
15	5	35	2
16	4	36	1
17	2	37	3
18	4	38	5
19	3	39	3
20	1	40	4